



平成26年11月5日  
国土交通省中部地方整備局  
名古屋港湾事務所

## 結果のお知らせ

～南海トラフ巨大地震に備えた愛知県石油コンビナート等防災訓練～

### 海洋環境整備船「白龍」等6機関による合同の流出油回収訓練を実施！

#### 1. 概要

中部地方整備局は、10月30日(木)に中部電力(株)渥美火力発電所(愛知県田原市小中山町)及びその周辺海域において実施された南海トラフを震源とする地震を想定した「愛知県石油コンビナート等防災訓練」に名古屋港湾事務所所属海洋環境整備船「白龍」を派遣しました。

訓練は愛知県、田原市、第四管区海上保安本部、名古屋海上保安部など関係20機関の200人が参加し、海上訓練と陸上訓練の2会場に分かれ、海上12項目、陸上42項目の訓練が実施されました。

海上訓練では、突発型地震の発生により津波が襲来し、石油コンビナートの油が三河湾に流出する等の想定のもと、漂流者の吊り上げ搬送、オイルフェンスの展張、排出油防除及び海上火災の消火訓練等が行われました。

海洋環境整備船「白龍」は、海上訓練のうち排出油防除訓練に参加しました。排出油の防除は、荷役施設からの排出油が海上に流出した想定で、中部電力(株)の作業船によりオイルフェンスが展張され、排出油が拡散しつつある現場海域において「白龍」は、油回収装置を海面に降ろし航行しながら油回収及び放水による航走拡散を行いました。(航走拡散は名古屋港管理組合の「ぽーとおぶなごや2」と合同で実施)

その後、名古屋海上保安部の巡視艇、伊勢湾防災(株)の消防艇及び伊勢湾三河湾タグ協会の曳船が放水拡散を行い、6機関合同による排出油防除訓練が実施されました。

2. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

#### 3. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部 港湾空港・防災危機管理課 塚本(つかもと)

Tel 052-209-6328 Fax 052-209-6334

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課 久野(くの)

Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801

「白龍」は、航行船舶の安全性の確保や海洋環境保全のため、伊勢湾及び三河湾(港湾区域漁港区域を除いた海域、約1,800km<sup>2</sup>)での浮遊ゴミ回収作業を行うとともに、関係機関と連携し大規模災害に備えます。



(訓練海域で排出油防除訓練中の白龍)



(油回収装置による排出油回収中の白龍)



(白龍の放水による排出油拡散作業)



(訓練作業中の白龍操舵室)



(オイルフェンスの展張)



(ぼーとおぶなごや2による航走拡散)



(保安部、伊勢湾防災、伊勢湾三河湾外協会による放水)



(保安部巡視艇の放水による排出油拡散作業)

# 海洋環境整備船「白龍」の概要

## 「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面浮遊ゴミの回収作業。
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業。
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施。



## 「白龍」の諸元

- 所属  
中部地方整備局  
名古屋港湾事務所
- 基地港  
名古屋港 四号地岸壁
- 全長、全幅、総トン数  
33.5m、11.6m、198t
- 最大速力  
15.1kt (約28km/h)
- 担務海域  
伊勢湾・三河湾 (1,800km<sup>2</sup>)  
(港湾区域及び漁港区域  
等の指定区域を除く)



## 東日本大震災における災害 支援(海上漂流物の除去) (平成23年4月23日～5月19日)

- 海上物流拠点の仙台塩釜港及び石巻港を有する仙台湾周辺海域において、航行船舶の安全を図るため津波により発生した大量の漂流物を回収。
- 漂流物回収量【239.1m<sup>3</sup>】

